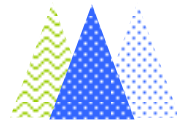




伊那ロータリークラブ



事務所 伊那市西町5016-2 Tel(72)0077 例会日 毎週木曜日 例会場 くぬぎの杜 Tel(78)1121
 会長 立石 誠 幹事 赤羽弘之 会報副委員長 大石ひとみ 第2864回例会 2019.5.9 No.1524



インスピレーションになろう

2018-19年度RIテーマ

BE THE INSPIRATION

ソング 君が代 奉仕の理想
四つのテスト 小坂樫男職業・社会奉仕委員
ビジター・ゲスト紹介 米山奨学生 サンギートさん
会長談話

令和元年の初例会となります。先日は、新天皇が即位される様子をテレビで関心持って見ておりました。伊那RCの活動も「令和」という新たな年号のもとスタートするわけですが、これからも皆さんと協力し合いながら、末永く活動を続けていけるよう盛り上げていきたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願ひします。



入会式 伊那中央病院 院長 本郷一博様
 (紹介者 神山公秀会員)

昭和28年生まれ65歳。高遠出身。現在は奥様と二人暮らしお子様3人。伊那北高校、信州大学医学部を卒業後、同医学部の脳神経外科教授、信大付属病院の病院長、信大理事等を歴任された後に定年退職され、伊那中央病院院長。趣味ゴルフ・スキー、蕎麦やラーメンの食べ歩き。



4月1日付で伊那中央病院の院長に就任しました。高遠で生まれ、父が旧国鉄の飯田線駅に勤務していた関係で小中学校時代は駒ヶ根・飯田で過ごしました。高校時代は宮田村に建てた家から伊那北高校へ通学していました。それ以来、40数年ぶりに生まれ故郷に戻って仕事ができること、そして今回入会させていただき、昔からの友人や地元で活躍されている皆さんと一緒にロータリー活動ができることを大変嬉しく思います。

米山奨学生紹介 中山一郎米山奨学生カウンセラー
 氏名：ラトナヤカ ムヂヤンセラゲ、サンギート マヅランガ バンダラ ラトナヤカ 略称サンギートまたはサンギート ラトナヤカ。年齢33歳。国籍スリランカ



民主社会主義共和国
 学籍：信州大学 博士
 課程 総合理工学専攻
 2年。研究テーマ：栽培環境がトウガラシ辛味成分含量等に与える

影響およびその関連遺伝子発現。経歴：スリランカの大学を出て、1年間就職をした後、日本の技術をスリランカに持ち帰り、大学で教え、国の発展に寄与したいと4年前に日本に来て、諏訪の日本語学校で1年勉強した後、修士課程2年修了、現在博士課程2年目。

誕生祝 坂井清彦・原田和愛
結婚記念日祝 小林孝行・宮澤安三・中村和之・岩附宏
在籍祝 下枝正一(25)・山田益(19)・向山賢悟(3)



幹事報告 別紙をご覧ください。
理事会報告 1.5月の行事予定 2.入会者について
 3.伊那中央RC合同夜間例会について 承認された
委員会報告 環境保全例会について 唐木章副幹事

5/26(日)羽広ボーイスカウト野営場「希望の森」にて開催。9:15現地集合。車は羽広荘西側の駐車場へ駐車。9:30開会式、作業9:45~11:30。野営場で昼食。正午過ぎ頃の解散。当日は作業が伴いますので、特に若い会員の皆さんは積極的なご参加をお願いします。



5月号「友」の紹介 原 義美副会長
 横組P7~13「地域に合わせた青少年奉仕のあり方」
 P14~17「考えよう、海洋プラスチック」



クごみ」と題して、昨今、海洋プラスチックごみが大きな問題となっており、一人あたりのごみ発生量が世界2位の日本も他人事ではなく、環境省は「プラスチック・スマート」キャンペーンを展開中といった記事。

縦組 P4~8 「愛があるなら叱りなさい」アーティストックスイミグ日本代表コーチの井村雅代さんの講演要旨。叱る教育として、愛情を持って本気で叱ったうえで具体的に直し、褒めることが大切だという旨の内容。

縦組 P26 「ロータリーアットワーク」塩尻 RC が紹介されており、フィリピン貧困地区の小学校に36台のパソコンを贈呈したという活動です。

出席報告 会員数56名 内出席免除17名 長欠2名 出席者30名 事前メーキャップ2名 出席率71.11% 前々回100%変更無し。

ニコニコボックス

立石 誠 令和元年の初例会でおめでとうございます。本郷先生ご入会ありがとうございます。サンギート君宜しくお祈りいたします。

本郷一博 今日新たに入会させていただきました。皆様方とお知り合いになれる事とても嬉しく思っております。よろしくお祈りいたします。

神山公秀 本郷一博先生心より歓迎します。

藤澤秀敬 高校の同級生の本郷先生の入会を大歓迎致します。

中山一郎 ロータリー米山記念奨学生サンギート君を宜しくお祈りいたします。

大石ひとみ わが社も技能実習生としてベトナムから人材を入れる事になりました。また、カフェ&バル・デリカチェレステにて、宮田初いーなちゃん、つれてってカードが使えるようになりました。皆様ふるってお使いください。

山田 益 5/1 宮田村兎東宅（東京南 RC 会員）で新天皇より贈られてきたお酒で即位をお祝いしました。（25人位で）

観桜会ビンゴ当選 遠藤和夫

ラッキー賞 小坂樫男・神山公秀・唐木 章・串原弘樹・中山一郎・平出吉範・本田敏和



クラブフォーラム 青少年月間 中川博司地区青少年奉仕カウンセラー

青少年奉仕活動は、地区予算のおよそ1/4を費やしており、ロータリーでの最大の事業です。その活動範囲は、インターアクト、ローターアクト、青少年交換およびRYLAです。インターアクトは12歳~18歳までで、当地区では9の高校と1校の中学が含まれ、総勢、昨年度で212名が活動しています。ローターアクトは18歳~30歳までの青年男女の活動で、当地区では6のRCが支援し、総勢43名が参加しています。青少年交換は、主に高校生の海外との1年間（長期）あるいは数か月（短期）のプログラムで、当地区では5~7名くらいが交換留学を行っています。伊那クラブでも過去に2名の交換留学（カナダとオーストラリア）のホストとなったことがありますが、その後は途絶えています。



もう一つ、RYLAは、青少年指導者養成プログラムで、1年に1回、1日~2日をかけて開催されます。近年は極めて有意義で活発なプログラムとなっています。

青少年奉仕の4つの活動の目的は、「より良い未来を確かなものとするために新世代の生活能力を高めることによって、新世代に将来への準備をさせることは、ロータリアン一人一人の責務であり、すべてのクラブと地区は、健康、人間的価値、教育、自己開発といった新世代の基本的ニーズを支えるプログラムに取り組むよう奨励されている。」とされています。これは私見ですが、次世代に向けてのもっとも重要で効果的な投資は青少年活動へ支援であるという、他団体との違いを示すロータリーの特徴ではないかと思っています。（中略）

なお、上伊那地区内では、箕輪 RC が青少年交換を、伊那中央 RC がインターアクトに力を入れていることは承知のとおりですが、両クラブに、共それぞれ地区内 No.1 の評価を受けており、両クラブの活性化にも大きく貢献しています。

また、当地区にある白馬 RC は10名に満たない小さなクラブですが、今や青少年活動のメッカとも言える存在で、全国的に有名になっている「白馬スキーの集い」を主宰し、白馬高校から毎年交換学生を送り、近々にはインターアクトクラブも作る、というニュースも入ってきています。この活動の継続は、消滅寸前だった白馬高校をも甦らせました。「国際観光科」というものを新たに創設しその存在感を高めています。「交換学生を毎年出している」が大きく貢献している、と白馬の会員が話していました。